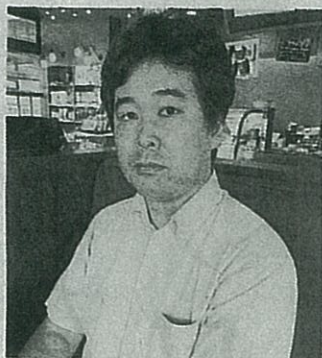


## 横浜国大大学院の専攻を追加

日本化学工業協会は人材育成支援の対象に横浜国立大学院工学府機能発現工学専攻を加えると発表した。支援対象は25専攻となる。学生への奨学金給付のほか、各専攻の取り組みを同協会ホームページで紹介する。



サイエンスライター 佐藤健太郎さん(44)

## 探究人

## 化学の魅力 わかりやすく

企業で医薬品の開発をしていたとき、複雑な分子をパソコン画面で簡単に描けるソフトにはまった。いろいろな化合物の分子をカラフルに描き、説明をつけてネットのサイトに載せた。お気に入りのはフラーレン。炭素原子60個でできたサッカーボールのような分子だ。「対称性の美しさにはまりました」

サイトに「有機化学美術館」と名付けた。ある時、学生からメールが来た。「『美術館』でおもしろさを知り、有機化学の道に進みました」。うれしくなつてのめりこんだ。合成をめぐる人間模様や、社会に及ぼした功罪など、様々な化合物をめぐる話題をこなれた文章で紹介し、人気サイトになった。

2007年に退社し、サイエンスライターの道へ。「生物学や数学のベストセラーはあるけれど、化学が専門のサイエンスライターは聞かない。今なら独占できる『市場』があるはず」単著を7冊出版し、今年から東京工業大の特任研究員として研究者インタビューを雑誌「現代化学」に連載している。「化学は生活に役立っているのに、中身が理解されていない。わかりやすく伝えたい」(嘉幡久敬)